

先生各位

新規受託項目のお知らせ 《糖尿病分類》

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
この度、「糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告」（日本糖尿病学会糖尿病診断基準に関する調査検討委員会）より、空腹時血糖値と75g経口糖負荷試験（OGTT）2時間値を組合せ、下記の表1に従い糖尿病型、正常型、境界型に分類した検査結果報告を新たに開始させていただきたくご案内申し上げます。

謹白

記

● 受託開始日 2016年1月18日（月）受付分より

● 新規受託項目

項目コード	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	検査方法	ご依頼方法
3229	糖尿病分類	血漿 各0.3 (mL)	17	冷蔵	1~2	HK-U V 法	<ul style="list-style-type: none"> ●空腹時血糖…1本 (項目コード：0201) ●糖負荷後120分…1本 (項目コード：0206) ●糖尿病分類 (項目コード：3229) 以上、3項目同時依頼により新規報告書を発行させていただきます

☆上記3項目依頼された場合の保険算定については、糖負荷試験の常用負荷試験（200点）となります。

☆ヘモグロビンA1cを同時にご依頼されても構いません。

表1 空腹時血糖値および75g経口糖負荷試験（OGTT）2時間値の判定基準
(静脈血漿値, mg/dL)

	正常域	糖尿病域
空腹時値	<110	≥126
75g OGTT 2時間値	<140	≥200
75g OGTTの判定	両者をみたまものを正常型とする	いずれかをみたまものを糖尿病型*とする
	正常型にも糖尿病型にも属さないものを境界型とする	

*：随時血糖値≥200mg/dLおよびHbA1c(NGSP)≥6.5%の場合も糖尿病型とみなす。

正常型であっても、1時間値が180mg/dL以上の場合には、180mg/dL未満のものに比べて糖尿病に悪化するリスクが高いため、境界型に準じた取り扱い（経過観察など）が必要である。
また、空腹時血糖値100~109 mg/dLのものは空腹時血糖正常域のなかで正常高値と呼ぶ。

糖尿病分類の検査結果報告書見本は裏面参照

糖尿病分類 検査結果報告



コードNo. 60 66660

〔本部受付分〕

科目 入外
 病棟 階

患者名 ビケン ハコ 様 女 59 才
 カルテNo. 2
 採取日 2015年11月04日
 受付日 2015年11月04日
 受付No. 9982
 報告日 2015年11月04日

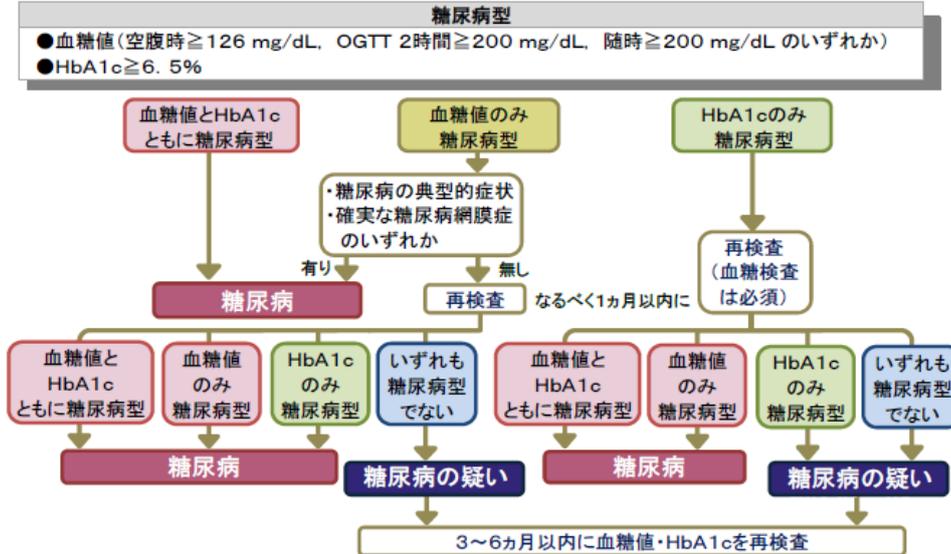
検査結果

結果値		基準値
血糖 前	100	60~109mg/dL
血糖 120'	140	
HbA1c	↓ 4.5	4.6~6.2%



- 注1) IFGは空腹時血糖値110~125mg/dLで、2時間値を測定した場合には140mg/dL未満の群を示す(WHO)。ただしADAでは空腹時血糖値100~125mg/dLとして空腹時血糖値のみで判定している。
- 注2) 空腹時血糖値が100~109mg/dLは正常域ではあるが、正常値と異なる。この集団は糖尿病への移行やOGTT時の耐糖能障害の程度からみて多様な集団であるため、OGTTを行うことが勧められる。
- 注3) IGTはWHOの糖尿病診断基準に取り入れられた分類で、空腹時血糖値126mg/dL未満、75gOGTT2時間値140~199mg/dLの群を示す。

糖尿病の臨床診断のフローチャート



日本糖尿病学会糖尿病診断基準に関する調査検討委員会：糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告。糖尿病55(7), 2012年

041710

検査責任者: 宮本 昌信

京都微生物研究所